

モーモー通信



ふうぶつし 楽しモー！夏の風物詩



昭和27(1952)年 坂井原盆踊り 各大会 優勝旗

日本の夏といえば、いろいろ思い浮かびますがその一つに盆踊りがあげられます。今では地域の行事というイメージですが、もともとは「お盆に帰ってきた先祖の霊を供養するための踊り」でした。

久井町の坂井原盆踊りは、かつて県内の各大会で何度も優勝するほどの腕前でした。今でもその伝統は受け継がれ、「久井！さわやか高原祭り」などでも披露されています。

☆実際に幼い頃(昭和30年代)、踊りに参加された地元の方に聞き取りを行いました。↓

ふむ
ふむ



昭和10(1935)年 浴衣

- 踊りは何種類もあり、一曲30分くらいの長い踊りであった。
- 扇子をもち、大きな声で躍動感を出す踊りのため、厳しい練習がされていた。練習の成果もあり、手や足など振り付けはきれいにそろい、素晴らしいものであった。
- 中央にやぐらをくみ、その上で太鼓をたたき、生歌にあわせて踊った。
- 伝統的な盆踊りであったが、統一的な衣装などはなく各自の浴衣で踊った。東広島西条などで大会があった。終了後はみんなで旅行に行くこともあった。

みんなで心をつにしていたのですね♪

「夏の民具」をご紹介します

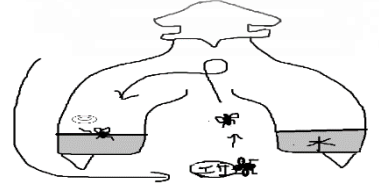


むかしの道具には、^{ちえ}知恵と^{くふう}工夫がたくさん♪

ハエ取り器

昭和 25 (1950) 年～昭和 35 (1960) 年

素敵なガラス製の器ですが、ハエを取るのに用いられました。使うときは、上部の口にふたや布で栓をします。使い方は、輪状の底に塩水や米のとぎ汁を入れ、中央の下に食べ物を置いておくと、ハエが下から寄ってきて中に入り、輪状の溝に落ちる仕組みになっています。ハエの習性を上手く利用した道具です。



蚊帳

蚊帳は、寝る時に蚊にさされないように、天井からつるしたうすいネットです。中国から伝来し、一般的に広まったのは江戸時代といわれています。風は通しますが、目が細かいので蚊は通りぬけることはできません。エアコンなどなかったむかしは、暑い夏の夜に戸や窓、障子を開けて寝るので、なくてはならないものでした。



お知らせ 「たんけんシート」にチャレンジだ♪

資料館では、「たんけんシート」を発行・配布します。

シートは小学校低学年・中学年用と小学校高学年用の2種類を作成しました。シートに記入しながら



むかしの道具にふれてみませんか♪
入館無料ですので、資料館をみんな
で満喫してみてください！



つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

「いあんない図」

